

「高齢者福祉」は 継続協議に

第7回合併協議会が10月7日、各務原市産業文化センターで開催されました。

会ではまず、前回の協議会で委員から資料提供の依頼があった「公共的団体」の一覧表と、新市建設計画策定にかかるアンケート調査の結果について、事務局から報告がありました。

その後、第5回で継続協議となっていた「町名、字名の変更について」は、「川島」の名称を残すことが承認されました。

また「使用料、手数料の取扱い」など、新たに提案された7議案のうち、6議案が原案どおり承認され、「高齢者福祉事業の取扱い」は議案の一部が継続協議となりました。

報告事項

公共的団体について

第6回協議会で、その取扱いについては承認されましたが、委員から、「公共的団体にはどのようなものがあるのか」という質問がありました。そこで今回、補助金交付団体等、行政の関与が深い団体の一覧表と統合

動向の見込みを専門部会が報告しました。各務原市が75団体、川島町が61団体となっています。（下表を参照）

新市建設計画策定にかかるアンケート調査の結果について

アンケート調査の結果と分析について、事務局から報告がありました。（詳細は2～5ページを参照）

継続協議事項

町名、字名の変更について

第5回協議会で専門部会から提案があった調整案に対し、意見が分かれたため継続協議となっていました。

前回と同じ調整案が提案され、原案どおり承認されました。

「川島町内の町の名称を変更する。川島町内の現行の町の名称の前に「川島」を付したものを変更後の町の名称とする」

※例えば「羽島郡川島町河田町」は「各務原市川島河田町」となる

【主な意見】

・多くの町民から意見を聞いたが、「川島」を残してほしいという声が多かった

・この際、各務原市の「那加」「鵜沼」「蘇原」を取るとい

●公共的団体の動向

平成19年3月25日現在

動向見込	各務原市	川島町
合併時に継承の見込み(合併年度及び以下の翌年度までを含む)	25	29
併存継続(予定)	5	5
独自の目的を持った団体等につき現行どおり存続	11	8
その他(検討中等)	34	21
計	75	61

※「公共的団体」とは、農協、商工会議所等の産業経済団体、社会福祉協議会、赤十字社等の厚生社会事業団体、法人団体、文化団体、スポーツ団体等の教育文化スポーツ団体など、公共的な活動を行うもので、法人にはこだわらない

う意見があるが、新市になって一定の時期に改めて検討してはどうか

協議事項

使用料、手数料の取扱いについて



各務原市で開催 を残すことに

協議の結果、次のとおり承認されました。

「使用料については、原則として、各務原市に統一するものとする。ただし、施設の規模や性格を勘案し、個別に判断すべきものは、個別の施設ごとに決定する。」

手数料については、原則として、各務原市に統一するものとする。

なお、保育料と水道・下水道使用料については、別途協議することになっていきます。

【主な意見】

・各務原市では施設の免除措置はあるのか

(専門部会回答)

市民会館に関しては、基本的に減免はない。ただしそれ以外の福祉センターや一般的な公民館には登録団体制度があり、減免にすることはある

・合併と同時にすべてを一緒にしてしまうのではなく、徐々に軟着陸をするというのではないか

・プールのようにグレードが違うものは、利用料が違っていてもいい

補助金、交付金等の取扱いにつ

いて

協議の結果、次のとおり承認されました。

「補助金、交付金等については、原則として、各務原市に統一するものとする」

なお、調整方針として「公共性、公益性の観点から、補助の内容、費用対効果を検討して統一、調整を図る」「各務原市の補助金交付に関する基本方針及び補助金審査基準に基づいて、統一、見直しの方向で調整することになっていきます。」

【主な意見】

・川島町の補助金は、健康や教育に配慮してきた経緯がある

(専門部会回答)

各務原市は次の基準で補助金を削減してきた。効果のない補助金はやめる、初期の目的を達した補助金はやめる、無駄な補助金はやめる

・川島町ではスポーツ団体への補助があるのに、各務原市にはないがどうしてか

各務原市は体育協会へ一括して補助をしているため

(専門部会回答)

川島町が団体等に補助金を出して実施しているものの中には、各務原市では市が直接実施しているものがある。また、川島町が独自で実施しているものもある。前者は各務原市に統一すればいい。後者は減らせないか、見直せないかという整理を今やっている

障害者福祉事業の取扱いについて

協議の結果、次のとおり承認されました。

「障害者の福祉制度については、原則として各務原市の現行制度に統一するものとする。ただし、川島町が実施し、各務原市が未実施である「補助大



第7回合併協議会の様子(各務原市産業文化センター)

第7回協議会を「川島」の名称

育成費助成事業」については、新市においてもこれを実施する。

また、川島町の「障害者小規模授産所」についても、新市にて引き続き実施する」

【主な意見】

・川島町には介助犬、盲導犬と暮らしている人がそれぞれ1人ずついる。昨年度から始めたばかりの助成事業である
高齢者福祉事業の取扱いについて

協議の結果、次のとおり承認されました。

「高齢者福祉事業については、原則として、各務原市に統一するものとする。なお、川島町で実施している「いきいきデイサービス事業」「展望浴場」につ

いては、新市においても引き続き実施する」

【主な意見】

・高齢者の支援事業に関しては、今まで川島町にはないものが多いのでありがたいと思っ

ている
・百歳祝い金と敬老祝い金については、もう少し地元で話し合う時間がほしい。継続協議としていただけないか
その他の福祉事業の取扱いについて

協議の結果、次のとおり承認されました。

「生活保護、母子・父子家庭事業については、各務原市の現行制度に統一する」
【主な意見】

・生活保護については、各務原市の制度は手厚いので期待している

【主な意見】

・融資事業については、各務原市の現行制度に統一する」
その他の事業（指定金融機関等）の取扱いについて

協議の結果、次のとおり承認されました。

「指定金融機関は、現行の各務原市の指定金融機関とする。収納代理金融機関として、現行の各務原市が指定する機関に加えて、新たに岐阜南農業協同組合及びいちい信用金庫を指定

●表紙のことは●

おすすめスポット「各務原市」

うとう峠

各務原市を横断する旧中山道は、かつての宿場町であった鶴沼西町、鶴沼東町を通っています。そこから坂道を登ると「うとう峠」。鶴沼緑苑団地東にある「日本ラインうぬまの森」に入ってから石畳となります。

石畳の歩道を登っていくと両側には広葉樹林で、木漏れ日の中を気持ちよくウォーキングできます。さらに進んでいくと峠の頂上に、眼下の木曾川の風景は、まさに絶景。この峠以外にも、うぬまの森の中にはいくつかわおーキングコースが設けられています。健康づくりにも、気分転換に、ぜひ一度歩いてみてはいかがでしょうか。

なお、うぬまの森の駐車場に車を止めれば、峠の石畳まで歩いてすぐです。

する」

◇ ◇

協議終了後、「合併協議項目」のこれまでの協議状況と、第8

回以降の協議開催日程が確認されました。第8回は11月1日、午前8時30分から、各務原市中央公民館で開催されます。

小委員会を設置し「新市建設計画」を審議

第6回合併協議会で今後、新市建設計画を策定するにあたって小委員会を設置することが確認されました。規程に基づき、協議会の会長が7人の委員を指名し、第1回の会議が平成15年9月30日、各務原市役所本庁舎4階大会議室で開催されました。

会議ではまず、委員の互選により松田之利委員長と村井宏行副委員長が選出されました。その後、7月下旬から8月中旬にかけて実施した住民アンケート調査の集計結果について事務局が説明、それに対して質疑応答がありました。

次に、新市建設計画策定のスケジュールについて事務局が説明。次回は11月ごろに開催し、来年1月には新市建設計画を取りまとめることが確認されました。

【主な意見】

- ・資料の文字の大きさにも注意を払ってほしい
- ・アンケートから、各務原市の住民が川島町にいろいろ気をつけてもらっているのが読み取れうれしい
- ・橋を望んでいる人は川島町だけでなく各務原市でも多いようだ
- ・アンケートは大づかみだが、今後は例えば公共交通の何が必要なのかという踏み込んだ議論が必要になってくるだろう
- ・この資料はホームページで公開するのか。一般の人が見て、意見がある場合はどうするのか

(事務局回答)

全部公開する。意見がある場合は、ホームページ上で聴取できるようにしているのであれば参考にしたい

■小委員会委員（敬称略）

- （委員長）松田之利
- （副委員長）村井宏行
- （委員）横山隆一郎 尾関益男 松原史尚 小森利八郎 横山勝利